

マーケットの動き（2024年5月6日～5月10日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
前週の政府・日銀による為替介入とみられる円高進行を受けた反動により、円売り・米ドル買いが優勢の展開となりました。
ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルでほぼ横ばいとなりました。

投資環境見通し（2024年5月）

円に対して米ドルは小じっかり、ユーロはレンジ内での動き

米ドル：米国ではインフレ鈍化が緩慢となり、早期の利下げ観測が後退する中、ドルの円に対する上昇圧力は残るとみられます。ただし、ドルが一段と上昇する場面では、日本政府・日銀による円買い介入も意識され、変動率が高まる可能性があります。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）が6月に利下げを行った後の追加利下げに対する見方が分かれ、日銀による年内の追加利上げは1回との見方が広がっていますが、当面は金利差に大きな変化はなく、ユーロは円に対して概ねレンジ内で推移するとみています。

	5月10日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	155.88	3.00	3.12	4.41	21.46
ユーロ/円	167.79	3.17	3.51	6.16	20.30

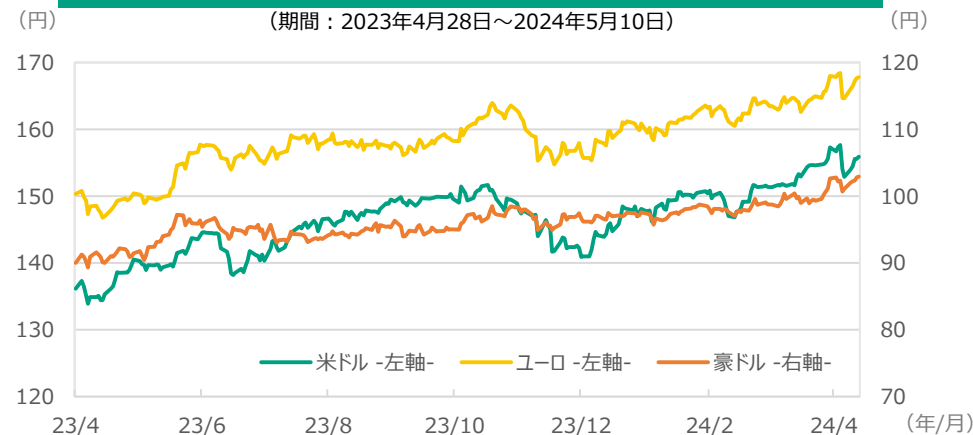
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202405_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）

（期間：2023年4月28日～2024年5月10日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2023年4月28日～2024年5月10日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>